十二月（大）

師走（しわす）

畢宿

（十二月七日大雪の節より
月命壬子一白水星の月
暗剣殺北の方）

旧 十一月小
十二月大

○望＝望月のことで、満月を指す

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	廿宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	木	つちのえ ね	九紫	映画の日、鉄の記念日、世界エイズデー、歳末助け合い運動 旧十一月小	八	赤口	のぞく	奎	くゐ日	6.32 16.28	12.46 —	12.04 22.57	4.31 18.02
2日	金	つちのとうし	八白		九	先勝	みつ	婁	くゐ日	6.33 16.28	13.14 0.17	— 12.56	5.51 19.21
3日	土	かのえ とら	七赤	障害者週間、秩父夜祭	十	友引	たいら	胃	大くわ	6.33 16.28	13.40 1.21	1.02 13.38	7.04 20.12
4日	日	かのと う	六白	人権週間	十一	先負	さだん	昴	神よし	6.34 16.28	14.06 2.24	2.26 14.15	8.04 20.53
5日	月	みづのえたつ	五黄	納めの水天宮	十二	仏滅	とる	畢	大みやう	6.35 16.28	14.33 3.27	3.25 14.48	8.54 21.30
6日	火	みづのと み	四緑	小田原秋葉権現火防祭、天一天上、不成就日	十三	大安	やぶる	觜	ぢう日	6.36 16.28	15.04 4.29	4.12 15.20	9.37 22.06
7日	水	きのえ うま	三碧	**大雪**一二時四六分	十四	赤口	やぶる	参	ちいみ	6.37 16.28	15.39 5.32	4.52 15.50	10.17 22.40
8日	木	きのとひつじ	二黒	**○望**一三時〇八分、こと納め、針供養、納めの薬師、成道会	十五	先勝	あやぶ	井	大みやう	6.38 16.28	16.19 6.34	5.29 16.19	10.54 23.14
9日	金	ひのえ さる	一白	皇后誕生日、京都了徳寺大根焚き、漱石忌	十六	友引	なる	鬼	母倉	6.38 16.28	17.05 7.33	6.03 16.48	11.28 23.48
10日	土	ひのと とり	九紫	世界人権デー、納めの金毘羅、大宮氷川神社大湯祭	十七	先負	おさん	柳	神よし	6.39 16.28	17.56 8.27	6.37 17.16	— 12.00
11日	日	つちのえいぬ	八白		十八	仏滅	ひらく	星		6.40 16.28	18.52 9.15	7.10 17.45	0.21 12.31
12日	月	つちのと ゐ	七赤	一粒万倍日	十九	大安	とづ	張	ぢう日	6.41 16.28	19.50 9.57	7.45 18.15	0.55 13.03
13日	火	かのえ ね	六白	一粒万倍日	廿	赤口	たつ	翼		6.41 16.28	20.49 10.32	8.22 18.47	1.30 13.37
14日	水	かのと うし	五黄	東京高輪泉岳寺義士祭、不成就日	廿一	先勝	のぞく	軫	五む日	6.42 16.29	21.48 11.03	9.03 19.25	2.07 14.20

一年の締めくくりの月であり、年間を通じて最も日中の短い月である。

この月の別名として「師走」の呼称が通例になっているのは、やはり一般に師匠までも走り出す月、という人間味を伴った語感のせいであろうか。

年の最後の月として、各地でいろいろな行事や祭祀があるが、だいたいが納めや供養である。

今年一年間の喜び、反省等、それらを思い返し、整理することで、来る年への指針となし期待を持ち、そして自戒するべきものがあれば心に誓うべきであろう。

【祭】 歳暮とは元来年の暮のことであるが、日ごろ世話になっている人や親戚などへの、一年間のお礼心としての贈り物がいつのころから「お歳暮」というならわしになった。

正月始めは、この月の八日か十三日から、正月を迎える準備をし始めることを

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	廿宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
15日	木	みづのえとら	四緑	年賀郵便特別扱い、東京世田谷ボロ市、三隣亡	廿二	友引	みつ	角	大みやう	6.43 16.29	22.47 11.30	9.49 20.20	2.48 15.21
16日	金	みづのと う	三碧	**◑下弦**一七時五六分	廿三	先負	たいら	亢	●	6.43 16.29	23.45 11.55	10.39 21.58	3.37 17.05
17日	土	きのえ たつ	二黒	東京浅草観音歳の市、伊勢神宮月次祭、奈良春日大社若宮おん祭	廿四	仏滅	さだん	氐	大みやう	6.44 16.30	— 12.20	11.30 —	4.42 18.47
18日	日	きのと み	一白	納めの観音	廿五	大安	とる	房	十し	6.45 16.30	0.45 12.45	0.01 12.20	6.01 19.41
19日	月	ひのえ うま	九紫		廿六	赤口	やぶる	心	大みやう	6.45 16.30	1.48 13.12	1.44 13.07	7.13 20.23
20日	火	ひのとひつじ	八白		廿七	先勝	あやぶ	尾	神よし	6.46 16.31	2.54 13.43	2.57 13.52	8.15 21.02
21日	水	つちのえさる	七赤	納めの大師	廿八	友引	なる	箕	母倉	6.46 16.31	4.05 14.20	3.54 14.35	9.08 21.42
22日	木	つちのとり	六白	**冬至**六時四八分、ゆず湯、不成就日	廿九	先負	おさん	斗	百事吉	6.47 16.32	5.19 15.06	4.43 15.17	9.58 22.24
23日	金	かのえ いぬ	五黄	**●朔**一九時一七分 旧十二月大	朔	赤口	ひらく	牛	大みやう	6.47 16.32	6.34 16.03	5.30 15.59	10.45 23.09
24日	土	かのと ゐ	四緑	クリスマス・イブ、納めの地蔵、一粒万倍日	二	先勝	とづ	女	大みやう	6.48 16.33	7.43 17.10	6.16 16.41	11.30 23.54
25日	日	みづのえ ね	三碧	クリスマス、終い天神、蕪村忌、八せん始め、一粒万倍日	三	友引	たつ	虚	くゐ日	6.48 16.33	8.44 18.25	— 12.15	
26日	月	みづのとうし	二黒		四	先負	のぞく	危	天おん	6.49 16.34	9.34 19.42	7.46 18.07	0.40 12.59
27日	火	きのえ とら	一白	三隣亡	五	仏滅	みつ	室	きこ	6.49 16.35	10.14 20.56	8.29 18.53	1.25 13.45
28日	水	きのと う	九紫	官庁御用納め、納めの不動、不成就日	六	大安	たいら	壁	●	6.49 16.35	10.47 22.07	9.12 19.46	2.10 14.35
29日	木	ひのえ たつ	八白		七	赤口	さだん	奎	大みやう	6.50 16.36	11.17 23.14	9.52 20.51	2.54 15.36
30日	金	ひのと み	七赤	**◐上弦**一〇時二一分	八	先勝	とる	婁	十し	6.50 16.37	11.43 —	10.33 22.20	3.39 16.54
31日	土	つちのえうま	六白	年越し、大はらい、除夜の鐘、男鹿なまはげ、出羽三山松例祭	九	友引	やぶる	胃	ちいみ	6.50 16.37	12.10 0.18	11.10 —	4.29 18.19

いう古い習慣で、すす払いから着手したものである。

二十二日前後に二十四節気の一つ「冬至」がある。この日北半球では最も日が短く、この日を境に日脚が延びるので、地方によりそれぞれの行事を持っている。風邪をひきにくいといって「ゆず湯」に入る習慣は全国的に知られていよう。

二十五日はキリストの降誕日で、その前夜の「クリスマスイブ」とともに、欧米では正月よりも盛大に祝う。わが国でもキリスト教とは関係なくツリーを飾ったり、プレゼントをし合ったりする家庭も多い。

新年を迎える正月の飾り物は、三十日までには用意を終えるが、二十九日は苦飾り、三十一日は一夜飾りといい、どちらも年神様に失礼に当たるというので、なるべく早めの準備を心掛けるべきである。

大晦日（おおみそか）の夜は神棚にお灯明をあげたり、年越しそば（みそかそば）を食べたり、神社や寺院に参詣したりし、その土地土地によって独特の習慣を持っていたりする。

◑下弦＝下弦の月を指す